



KAMIの糸

かみのいと



紙糸（抄織糸）の歴史は古く、

奈良時代には使用されていたことが判っています。

当時はまだ手作業のため、こより細工など限定的なものでしたが、
現代の技術とノウハウによって、より身近なものとなってきました。

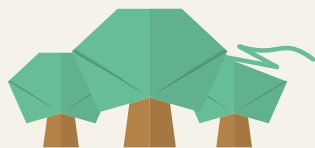
吸湿性に優れ
サラッとした風合い

糸の内部に空間があり
軽量感がある

毛羽が無く
クリアな表面感

植物原料100%なので
生分解性がある

KAMIの糸シリーズ



MORI

森

ソフト感も
併せ持つ
セミドライタイプ

速乾

高い吸湿性を持ちながらも、
乾燥時間が早い。

リーズナブル

比較のお求めやすい
価格帯です。



HINATA

陽

しっかりした
ハリ・コシの
ドライタイプ

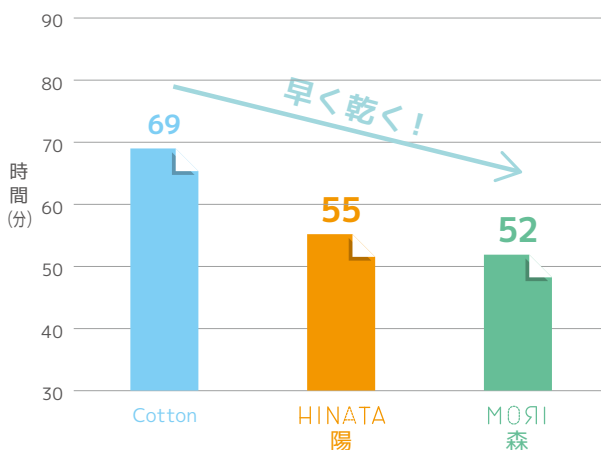
高強力

糸の強力が高く、湿潤時の
強力低下も殆どありません。

高吸放湿

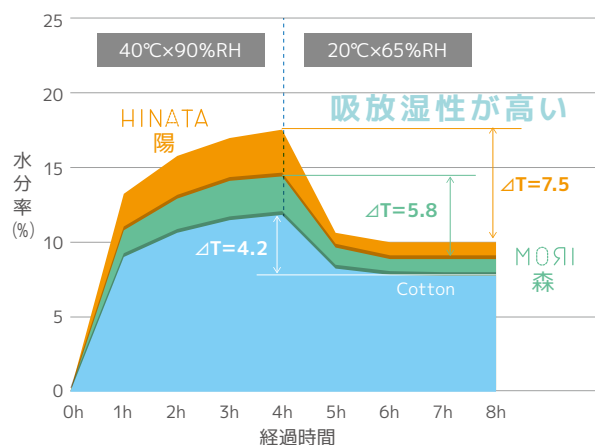
湿気を良く吸い、良く吐き出す
性質を持っています。

乾燥性試験



試験方法：JIS-L-1907 滴下法
測定試料：各糸100%のニット地
試験機関：一般社団法人 ポーケン品質評価機構

吸放湿性試験



試験方法：当社指定方法(各条件下での質量変化の測定)
測定試料：各糸100%のニット地
試験機関：一般社団法人 ポーケン品質評価機構

※ 紙系の混率、編み組織等により測定値は異なる場合があります。